

国語科公開授業学習指導案

指導者 教諭・氏名 緒方真代

指導日時・教室 令和5年11月15日(水) 5限目 3年2組教室
 対象生徒・集団 商業科・情報処理科3年生18人(選択者)
 科目名 国語表現(単位数 2)
 使用教科書 国語表現 改訂版(大修館書店)

1 単元名 通信文を書き分ける

2 本時の指導と評価の計画(第1時)(全2時間取扱い)

(1) 本時のねらい

- ①様々な表現についてその効果を吟味して、自分の表現や推敲に役立てるとともに、もの見方、感じ方、考え方を豊かにすることができる。
- ②目的や場に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫して効果的に表現することができる。

(2) 準備・資料等 ワークシート、クロームブック

(3) 本時の展開

過程時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
導入 3分	○既習事項の振り返り	○本時の学習の流れを確認する。	○これまでの学習を振り返らせながら、本時の学習の流れを把握させる。	
展開 42分	○読み手を意識した表現方法 ○「やさしい日本語」の特徴 ○公文書における表現	○「PTA総会のお知らせ」が誰に対する案内文かを考える。(個人・全体) ○「防災パンフレット」を見て、そこに使われている日本語表現の特徴を捉える。(個人・全体) ○「やさしい日本語」の特徴について考え、学ぶ。(個人・全体) ○「やさしい日本語」を意識して、「引き渡し訓練のお知らせ」を改訂する。(グループ)	○表記だけでなく、表現についても注目させる。 ○「PTA総会のお知らせ」もふまえ、日本語表現の特徴を挙げさせる。 ○これまでの学習活動をふまえ、特徴をまとめさせた後に、「やさしい日本語ガイドライン」等を紹介する。 ○伝える情報を取捨選択させるとともに、熟語等に注目させる。	○読み手を意識した日本語表現の特徴を捉えることができる。(ワークシート①) ○「やさしい日本語」の特徴をこれまでの学習活動からまとめることができる。(ワークシート①) ○「やさしい日本語」を用いて、既存の文書を改訂することができる。(グループワークの観察・ワークシート②)
終末 5分	○本時のまとめと次時への見通し	○次の授業への見通しを持つ。	○教科書を使用し、次の授業で行う話し合いの形式について説明する。	